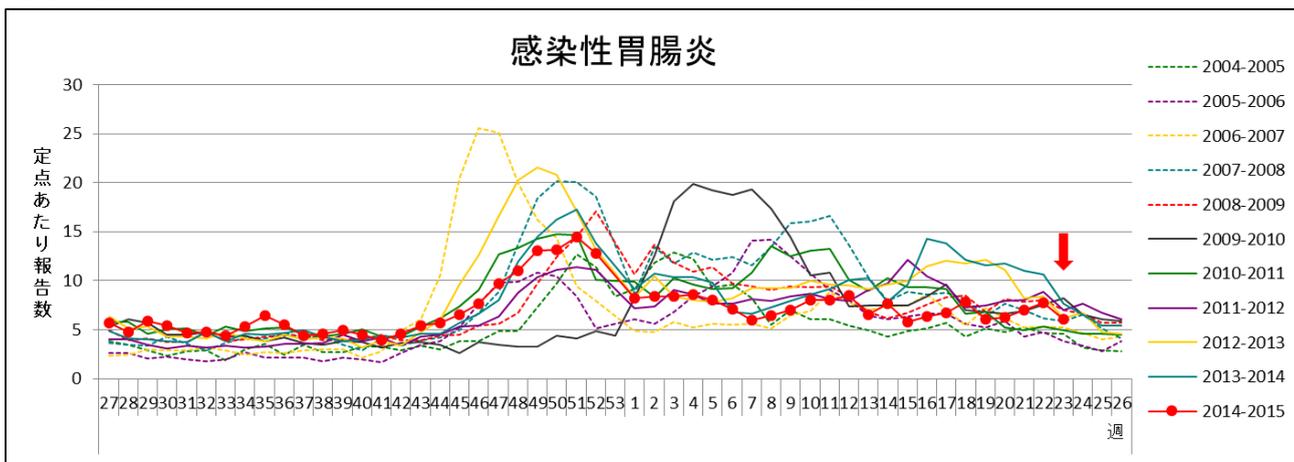


感染性胃腸炎週報 2015年 第23週 (6月1日～6月7日)

○感染性胃腸炎は、県全体で328名（定点あたり7.72 → 6.07人）の報告がありました（54定点医療機関報告）。

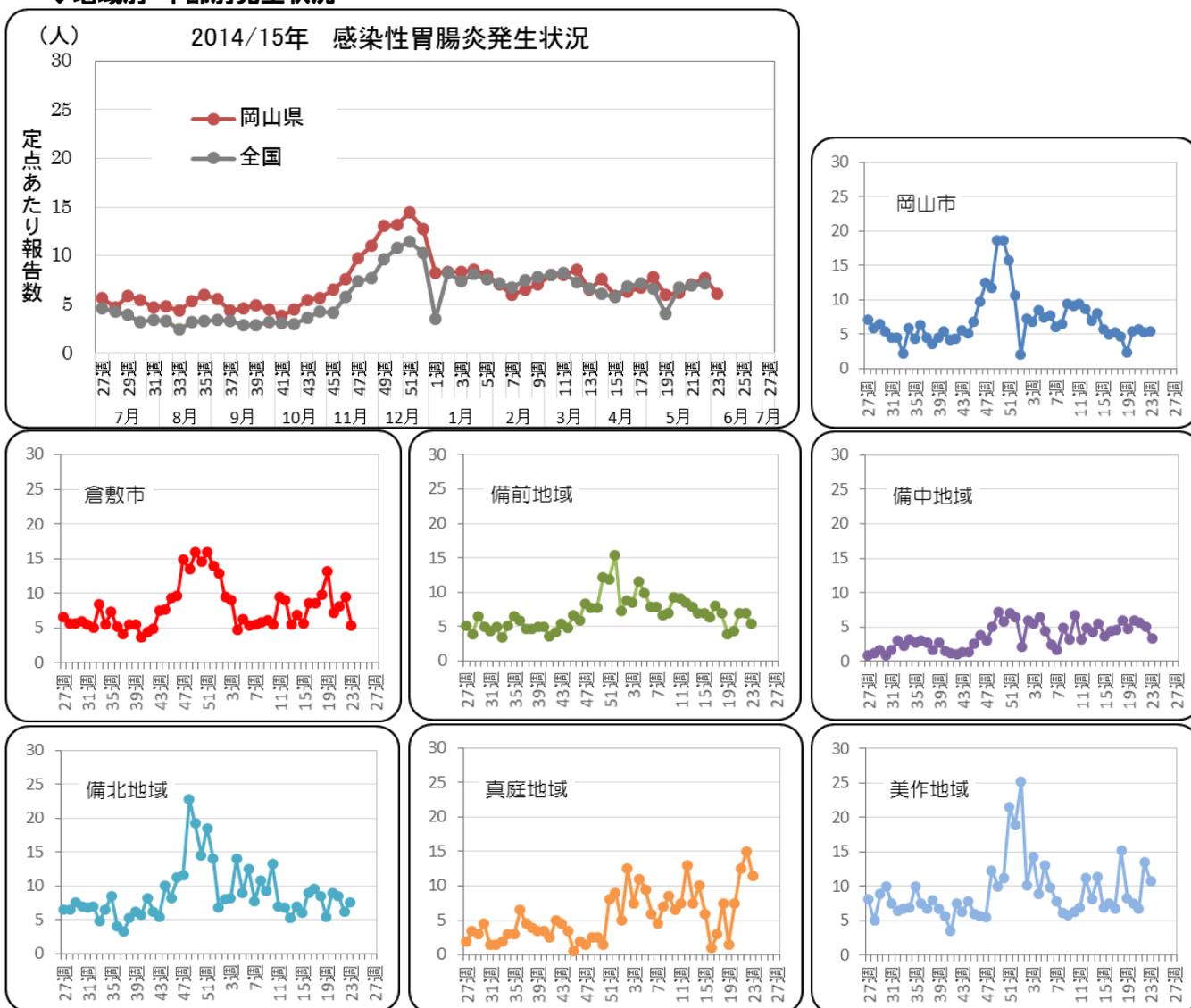


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

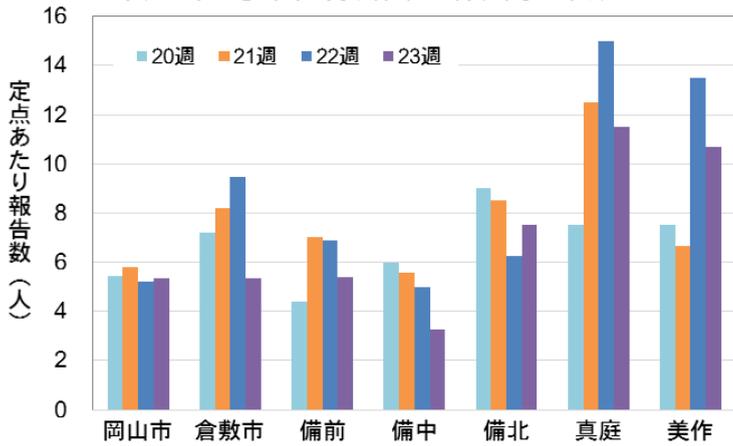
感染性胃腸炎は、県全体で328名（定点あたり7.72 → 6.07人）の報告があり、前週より減少しました。地域別では、真庭地域（11.50人）、美作地域（10.67人）、備北地域（7.50人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別割合では、5歳以下の乳幼児が全体の56%を占めています。

例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。トイレの後や食事、調理の前には、特にしっかりと石けんと流水で手を洗うなど、感染予防に努めてください。

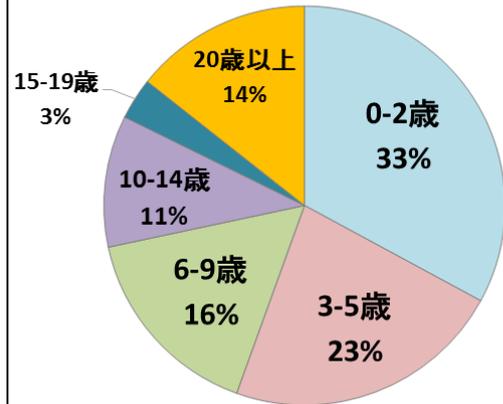
◆地域別・年齢別発生状況



岡山県 感染性胃腸炎地域別発生状況



感染性胃腸炎 第23週年齢別割合



◆◆◆ 食中毒を予防しましょう！ ◆◆◆

- 料理前・食事前・トイレの後には、手をよく洗いましょう。
- まな板・ふきんなどの調理器具は、十分に洗浄消毒しましょう。
- 生鮮食品や調理後の食品は、早めに冷蔵庫に入れましょう。
冷蔵庫に入れても、細菌はゆっくり増殖するため、冷蔵庫を過信せず、早めに食べるのが大切です。
- 加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
特に、食肉は中心部まで火を通し、生食は避けましょう。

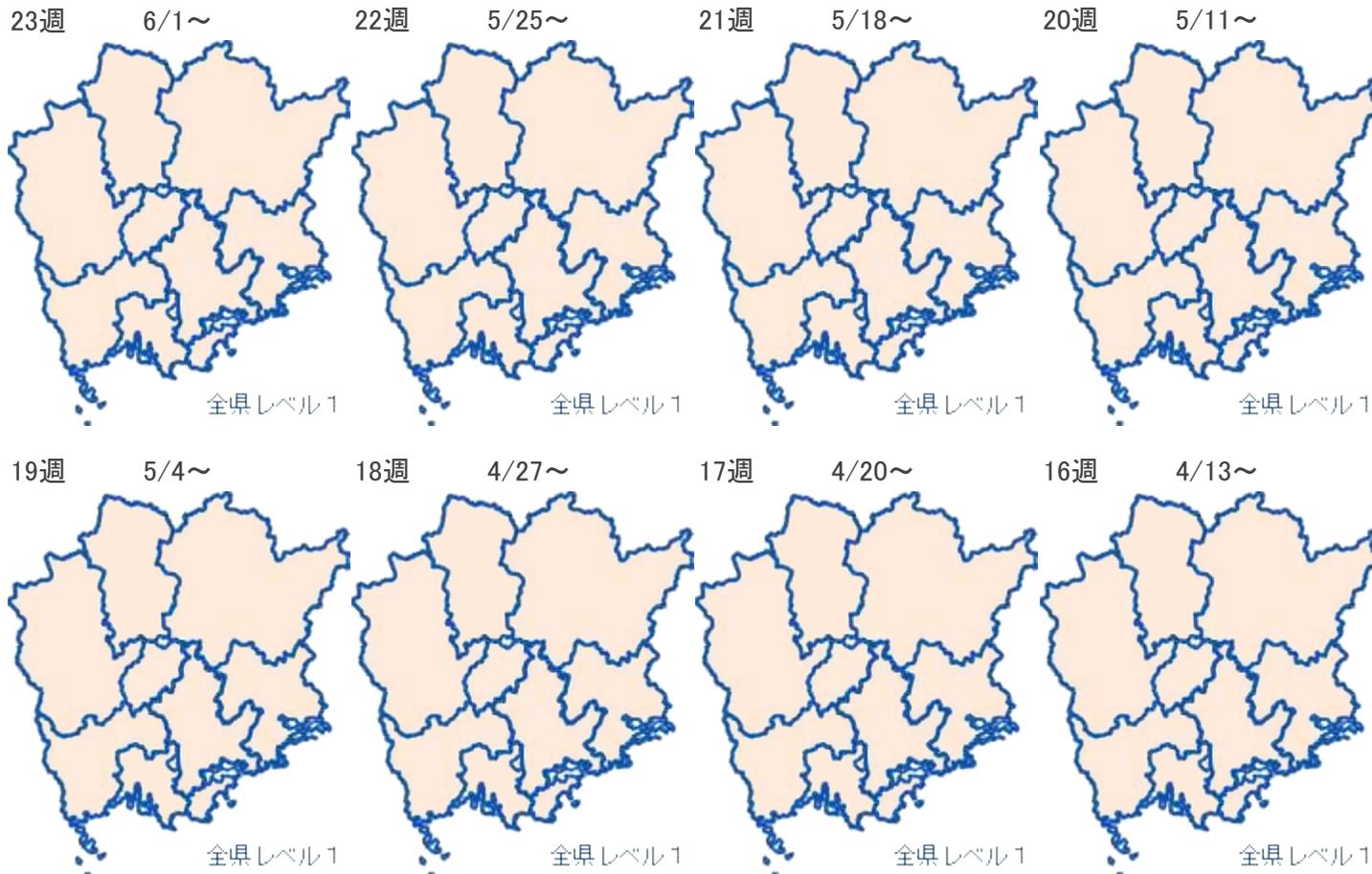
[食中毒に関する情報（厚生労働省）](#)



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2015年 23週

2015年6月10日

11:26:06



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。